

広島県告示第 650 号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和 48 年法律第 110 号）第 5 条第 1 項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので，同条第 4 項の規定によって，その概要を次のとおり告示する。

平成 23 年 7 月 7 日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	大阪府大阪市北区梅田三丁目 4 番 5 号 ダイセル化学工業株式会社 代表取締役社長 札場 操
工場又は事業場の所在地及び名称	大竹市東栄二丁目 1 番 4 号 ダイセル化学工業株式会社大竹工場

2 申請の内容

37 口 石油化学工業の用に供する分離施設 4 基及び 37 タ 石油化学工業の用に供する廃ガス洗浄施設 8 基を廃止し，37 口 石油化学工業の用に供する分離施設 4 基及び 37 タ 石油化学工業の用に供する廃ガス洗浄施設 3 基を新設する。また，第一中和槽，第四排水処理施設及び第六排水処理施設リン処理設備の使用の方法を変更する。

(1) 特定施設の種類，能力及び使用の方法

(その 1) 37 口 石油化学工業の用に供する分離施設 4 基 廃止

(その 2) 37 タ 石油化学工業の用に供する廃ガス洗浄施設 8 基 廃止

(その 3) 新設

種 類	37 口 石油化学工業の用に供する分離施設 1 基（エステル製造施設 D2 -16〔K-800 デ カンター〕）	37 口 石油化学工業の用に供する分離施設 1 基（グリコールエステル製造施設 F3 - 1 〔T-631 下層水〕）
能 力（1 日 当 た り）	排水量 263.7 m ³	排水量 27.2 m ³

工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		着手後30日		着手後30日		
	使用開始予定年月日		完成後1日		完成後1日		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		
	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出される 汚水等の状態	水素イオン濃度(単位:水素指数)		5~7	5~7	4~7	4~7
		(単位: mg/L)	化学的酸素要求量	631.4	631.4	262	890
			浮遊物質	2	4	3	6
			窒素含有量	0.1	1.0	0.1	1.0
		燐含有量	0.1	0.5	0.1	0.5	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		222.1	263.7	18.0	27.2		
汚水等の排出先		第一中和槽		第一中和槽			

(その4)新設

種 類		37口 石油化学工業の用に供する分離施設 2基(グリコールエステル製造施設F3-3 [P-630 真空ポンプ], グリコールエステル 製造施設F3-4 [P-730 真空ポンプ])		37口 石油化学工業の用に供する廃ガス洗 浄施設2基(グリコールエステル製造施設F 3-2 [T-910C スクラバー], グリコールエ ステル製造施設F3-5 [K-104 スクラバー])			
能力(1日当たり)		排水量 12.5 m ³		排水量 5.3 m ³			
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		着手後30日		着手後30日		
	使用開始予定年月日		完成後1日		完成後1日		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		
	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出される 汚水等の状態	水素イオン濃度(単位:水素指数)		4~7	4~7	4~7	4~7
		(単位: mg/L)	化学的酸素要求量	20	33	20	33
			浮遊物質	3	6	3	6
			窒素含有量	0.1	1.0	0.1	1.0
		燐含有量	0.1	0.5	0.1	0.5	

排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	12.0	12.5	4.8	5.3
汚水等の排出先	第一中和槽		第一中和槽	

(その5) 新設

種 類	37 タ 石油化学工業の用に供する廃ガス洗 浄施設1基(オリゴマー製造施設V-4〔J- 220 エジェクター〕)				
能 力 (1 日 当 た り)	排水量 168 m ³				
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後 30 日			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後 1 日			
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)			
	項 目	通 常	最 大		
	排出される 汚水等の状 態	水素イオン濃度(単位:水素指数)	6 ~ 7	6 ~ 7	
		化学的酸素要求量	120	180	
		浮遊物質 量 (単位: mg/L)	1以下	2以下	
		窒素含有 量	0.1	1	
		燐含有 量	0.2	1	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	168.0	168.0			
汚 水 等 の 排 出 先	第二排水口				

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 第一中和槽

		変 更 前	変 更 後
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	既設	許可後直ちに
	工 事 完 成 予 定 年 月 日		着工後 1 日
	使 用 開 始 予 定 年 月 日		完成後 1 日

使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	792	1,146	792	1,146	792	1,145	792	1,145
窒素含有量	(単位：mg/L)	74	166	74	166	71	158	71	158		

(その2) 第四排水処理施設

			変 更 前				変 更 後				
工期等	工事着手予定年月日	既設					許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						着工後1日				
	使用開始予定年月日						完成後1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		窒素含有量	(単位：mg/L)	225	419	90.7	165.3	225	417	90.7	164.5

(その3) 第六排水処理施設リン処理設備

			変 更 前				変 更 後				
工期等	工事着手予定年月日	既設					許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						着工後1日				
	使用開始予定年月日						完成後1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		窒素含有量	(単位：mg/L)	32.3	58.3	32.3	58.3	32.3	58.1	32.3	58.1

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成 23 年 7 月 7 日から平成 23 年 7 月 28 日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市都市環境部環境整備課